

《カトリック大和高田教会 お知らせ》 2025 年 5 月 4 日

典 礼 暦	日 時 など	
復活節第 3 主日	5 月 4 日（日）ミサ	8：30
	5 月 8 日（木）ミサ	10：30
	5 月 10 日（土）ミサ	8：00
復活節第 4 主日	5 月 11 日（日）ベトナム語ミサ	15：00
	5 月 15 日（木）ミサ	10：30
	5 月 17 日（土）ミサ	8：00

【バチカン／中央協議会】

★第 5 回枢機卿総会、5 月 7 日(水) コンクラーベ開始を決定
4 月 28 日(月)、教皇庁広報部は以下の発表を行いました。
第 5 回枢機卿総会が祈りの時をもって始まりました。祈りの後、
使徒憲章『使徒座空位と教皇選挙』の規定に従い、(中略) コンクラー
ベ開始日が決定されました。コンクラーベは 5 月 7 日（水）午前
から、サンピエトロ大聖堂での「ローマ教皇選出のための」ミサを
もって開始します。枢機卿団は午後、システィーナ礼拝堂に入り、
投票を開始します。』《詳細は掲示板をご覧ください》

【奈良ブロック】

◎2025 年度「聖書を学ぶ会」ーテーマ「希望の巡礼者の聖年」ー

回	日 時	会 場	講師／「サブテーマ」
①	5 月 10 日(土) 10：30～12：00	奈良教会	大塚喜直司教(京都司教区)／ 「希望のことば」
②	5 月 31 日(土) 10：30～12：00	大和八木 教会	中川博道神父(カルメル会)／ 「希望のしるし」
③	6 月 21 日(土) 10：30～12：00	大和八木 教会	奥村豊神父(京都司教区)／ 「希望に錨を下ろして」
④	7 月 12 日(土) 10：30～12：00	奈良教会	英隆一朗神父（イエズス会）／ 「希望をあかしして生きる」

【大和高田教会】

◎本日、5 月 4 日(日)8 時 30 分からのミサ中、幼児洗礼があります。
(D くん) おめでとうございます。
◎5 月 8 日(木)10 時 30 分からのミサはお亡くなりになった、
教皇フランシスコの追悼ミサとなります。ご参加ください。
◎「訃報のお知らせ」
旧東部地区の EK 様が 5 月 2 日帰天されました。
ご冥福をお祈りします。
通夜が、5 月 4 日（日）19 時から、
葬儀、告別式が、5 月 5 日（月）10 時から
いずれも大和高田教会であります。
●「教区時報」＆「心のともしび」5 月号が発行されました。
◎「聖書の分かち合い」(Sr. ローマ)：5 月 8 日(木)ミサ後

◆ 教会掃除当番

5 月 4 日（日）ミサ後：全員（奉仕日）
5 月 11 日（日）ミサ後：D 地区

本日の聖歌

入祭	典	1 6 3	よろこびに	奉納	典	1 7 7	わたしの心は 神のうちに喜ぶ
答唱	プ	{聖書と典礼}		拝領	典	8 7	きょうこそ神が 造られた日
アレ ルヤ	プ	{聖書と典礼}		閉祭	平	4 8	新しい人に なるように

【典：典礼聖歌、聖：カトリック聖歌集、平：平和を祈ろう、プ：プリント】

5月4日 復活節第3主日 ヨハネ21章1～19節 ゆるしによる派遣

復活節第三主日には弟子たちと復活されたイエスとの出会いの箇所が読まれます。ヨハネの福音書ではトマスに現れたあと、20章の最後にいったん結びと思われる言葉があり、21章でまた漁をしている弟子たちに現れます。先週の箇所で弟子たちは復活したイエスに出会っているのにまた漁師に戻っているのはおかしい話ですが、このエピソードは福音書編集の際に弟子たちが体験したことをあとで付け加えたものと考えられています。

不思議な大漁の奇跡はルカ5章にも記されています。こちらはイエスが最初にペトロたちを呼び集めたときの出来事です。最初と復活後と同じような奇跡が二回あったのか、それとも一つの奇跡が別々のところに記されたのかはわかりませんが、今日の福音は復活されたイエスがふたたび弟子を呼び集めたという意味では共通しています。

漁のあとで、イエスは弟子たちに朝食を準備されます。イエスが用意されたパンとペトロたちが獲った魚です。パンと魚を増やされた奇跡や最後の晩さんとの関係があるかもしれません。ここでも奉仕する主の姿が見られますね。

そのあと、イエスはペトロに三度、わたしを愛しているかと尋ねられます。もちろんこれは、イエスの裁判のときにペトロが三度、イエスを知らないと否定したことに対するフォローでしょう。ペトロは「愛していることは、あなたがご存知です」と答えますが、それに対してイエスは「わたしの羊を飼いなさい」「世話をしなさい」と言われます。これは、イエスが約束された「あなたの上に教会を建てる」ということの再確認です。これによって、ペトロは自分の裏切りを赦してもらったと実感したことでしょう。

ルカの福音で、イエスがペトロを招くときの言葉は「人間をとる漁師にしよう」でした。魚を獲るのは食べたり売ったりするためで、それで終わりです。しかし、「羊を飼う」のは世話をして羊のために奉仕することが必要です。もちろん魚も養殖のために獲ることもありますが、この場合は違うでしょう。わたしは子どものころ、うなぎ料理は和食なのになぜ「うなぎの洋食」というのか不思議でした。これは「養殖」ですね。閑話休題。

ペトロに対する最初の招きと復活後の招きの違い、それは「ゆるし」の体験だったのではないのでしょうか。イエスの復活は一度イエスのもとを離れた弟子たちを赦し、再び招いて派遣する出来事でした。弟子たちはイエスのゆるしを胸に、聖霊を受けてこの後宣教へと派遣されていくのです。

先日、ペトロの後継者である教皇フランシスコが亡くなりました。貧しい人々や難民のことを常に思い、自らも清貧の生活をおくられた教皇は、主の復活を迎えてすぐにイエスのもとに旅立たれました。ペトロや弟子たち、そして教皇をはじめとする教役者だけでなく、わたしたちみんな復活されたイエスと出会い、派遣されています。わたしたちも主に赦された喜びを周りの人に分かち合っていきましょう。

(柳本神父)